

平成23年2月25日  
佐野ブランドキャラクターと決定



平成23年6月  
名前が「さのまる」と決定



かわいいお名前、  
ありがとうございます☆

平成23年8月(さの秀郷まつり)  
皆さんの前に初登場!!



県内のゆるキャラさんも来てくれたよ☆



たくさんのイ  
ベントに出演!!  
どこでも大人気



ほくもみんな  
大好き☆

## さのまる、お誕生日おめでとう!!

2月25日(土)、佐野ブランドキャラクター「さのまる」が一歳の誕生日を迎えました。誕生日当日には「さのまるお誕生日会」も開催され、多くの方にお祝いいただきました。



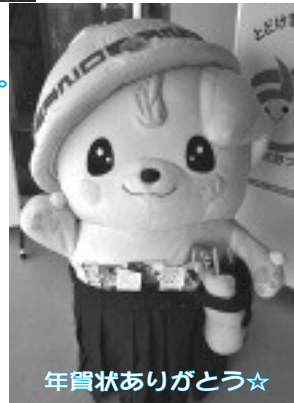
これからよろしく  
おねがいします☆  
さのまる

平成24年2月25日 1歳の誕生日

年賀状も  
いただきました。



これから  
がんばるね~



年賀状ありがとう☆

## イノシシ被害問題を議論

2月4日、葛生あくとプラザで、佐野市・東京農工大学地域連携シンポジウムが開催されました。

市と東京農工大学は、イノシシ被害問題に関する調査研究「総合的な野生動物管理システムの構築シンポジウム」を進めており、今回のシンポジウムはその成果報告会として実施されました。

第1部では、定点カメラやGPS装置で追跡したイノシシの行動調査などから、今後の市の野生動物管理のあり方への提言をいただきました。

また第2部のパネルディスカッションでは「地域の将来を見据えた野生動物管理のあり方について」をテーマとして、市民代表、県、市4人のパネリストと6人のプロジェクト研究員が、それぞれの立場から議論しました。



## 第62回大澤駅伝競走大会

2月5日、第62回大澤駅伝競走大会が運動公園周辺で開催されました。

この駅伝大会は、昭和26年から開催されている歴史ある大会で、これまで田沼・葛生地区の一般道を走っていましたが、安全性や交通渋滞を考慮し、今大会から運動公園周辺の周回コースに変更されました。

大会には栃木県内だけでなく、東京や千葉、埼玉、福島など県外各地から全110チームが参加。一般男子、高校男子、中学男子、一般・高校女子、中学女子の5部門で行われ、各チームが一本のタスキにそれぞれの思いを込め、駆け抜けました。





佐野市では昨年12月1日に市公式ホームページをリニューアルし、動画の配信を始めています。

動画配信ページでは、「さのまる」の可愛らしい紹介ムービーなどをはじめ、佐野ブランド大使・ダイヤモンドユカイさん、市出身のプロ野球選手・石井琢朗さんのメッセージや、佐野市の四季折々の姿などの動画を掲載しています。

今後も皆さんに楽しんでいただける動画を配信していきますので、ぜひご覧ください!

【動画配信ページのアドレス】

<http://www.city.sano.lg.jp/pr-tv/>

★携帯電話でも閲覧できます

動画配信サイト「YouTube」の携帯版から、佐野市の公式チャンネル「SANOPRTV」にアクセスすることで、動画を閲覧することが出来ます。

※佐野市の公式チャンネルへは、右のQRコードからアクセスできます。



2月10日から12日に福島県で開催された、知的障がい者の全国スポーツ大会「第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム福島」のスピードスケート25m直線種目に、堀米町在住の井上僚さん(19歳)が出場。見事、銀メダルに輝きました。

井上さんは昨年の7月から本格的な練習を開始。スペシャルオリンピックス栃木の活動の中で、練習を積み重ね、県を代表する選手の一人として出場しました。

大会前には「ゴールまで滑る」と健闘を誓っていた井上さん。初出場にも



関わらず、完走はおろか見事、第2位になる素晴らしい滑りでした。

滑り終えた井上さんは「楽しく滑りました。次は6月の地区大会、陸上で頑張ります」と話し、早くも次の大会、次の種目に目標を移していました。

季節の変わり目になると、「パーゲンセール」とか「大安売り」と書いたデパートや商店の宣伝広告・チラシなどが目にとまります。激安と書かれた衣類売り場では、われ先にと集まった女性でこった返します。買いたい物、見たい物を手に取って、品物の裏表をひっくり返したり、色や大きさや模様などを繰り返しながら見るようすは、目まぐるしい感じがします。このように同じ動作・行為を繰り返すさまを、ヒックケシタツケシといった、ヒックリ(ル)ケシタツクリ(ル)ケシなどといいます。

「あのじいさんは、年取ったせいとか、いつ会っても同じことを、ヒックルケシタツクルケシ言うんだから、ヤンナツチャーヨ」  
「うちの子は、おもちゃの電車を欲しがったんで買ってやったら、最初は珍しがってヒックケシタツケシ見てたんだけど、結局ワストラシテ(いじくり回して)、ポッコシチャッタ(壊してしまった)」  
ヒックケシタツケシは、ヒックリ(ル)ケシタツクリ(ル)ケシの変化した語で、「ひっくり返す」という語と、「手繰り返す」が結び付いたもの(合成語)です。ちなみに手繰るとは、両手を使って動かし、手元に引き寄せることです。ヒックケシタツケシと同じ意味の語に、トッケシタツケシがあります。これも「取り返す」と「手繰り返す」が結び付き変化したもので、使用者はほとんど年寄りに限られています。

市民記者 森下喜一